



平成29年 謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は何かとお世話になりましたこと、あらためて厚く御礼申し上げます。

昨年は、「世界津波の日」が制定されてからの諸々の行事がありまして、「濱口梧陵」「稲むらの火」が内外から注目された年でもありました。新聞、テレビ、ラジオで取り上げられた回数も数え切れなくらいでした。こうしたことから「津波防災」の趣旨もこれまで以上に浸透してきたのではないかと自負しています。

これもひとえに町民の皆様のご支援のたま物と深く感謝申し上げます。

本年4月は、「稲むらの火の館」が開館いたしまして、ちょうど10年となります。この節目の年を迎えるにあたり、更に津波防災の思想を広めて参る覚悟です。町内の皆様も、あらためて御来館いただき、今一度濱口梧陵さんの偉業を見つめ直し、津波防災を心に留めていただきたいと思います。自主防災組織等で計画され、防災研修で来られる場合は無料でお入りいただけますので、よろしくお願いいたします。

私達、職員一同も更に研鑽を積み、御来館いただく皆様の道しるべとなるよう努めて参りますので、よろしく御指導御支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

稲むらの火の館職員一同

両陛下・皇太子殿下御来館記念碑建立

平成27年9月に天皇皇后両陛下が、7月には皇太子殿下が稲むらの火の館に行幸啓、行啓されました。両陛下、殿下が同年に同一施設を訪問されるということは異例なことだそうです。たいへん光栄なものと存じています。



この名誉な事を後世にも継承していくために、このたび御来館の記念碑が濱口梧陵記念館玄関脇に建立されました。

「世界津波の日」制定一周年記念講演会

「世界津波の日」が制定されて一周年になります。この時期に、国連防災世界会議で提案された二階俊博自由民主党幹事長の記念講演会が開催されました。

二階幹事長の、津波防災にかける熱い思いが



語られ、記念イベントでもあった「高校生サミット」の様子も話されました。

『「世界津波の日」高校生サミット 若き津波防災大使』来館

「世界津波の日」の事業として最大のイベントであった「高校生サミット 若き津波防災大使」の一行が11月24日に来館されました。



稲むらの火の館には16カ国127人の生徒と20人の引率者がこられました。館内の案内は耐久高校の生徒たちが英語で説明されました。みんな元気に説明されていましたが、おそろしい経験になった事でしょう。

外国から来られた生徒たちは、宮城県と和歌山県に別れてサミットの事前スタディーツアーで、最終的には高知県黒潮町での総会が開催されました。世界30カ国約360名の高校生が参加して防災の討論をしたようです。

この黒潮町でのサミットの様子を掲載した「高知新聞」を送っていただき、切り抜きを館内に掲示しています。

アチェ地震お見舞金募集について

昨年1月、「稲むらの火の館」はインドネシア・スマトラ島のアチェ州にある「アチェ津波博物館」との間で提携の調印をしました。

そのアチェ州で12月7日午前5時(日本時間同午前7時)頃、マグニチュード(M)6.5の強い地震があり、8日現在で100人以上が死亡しています。提携先であり、「稲むらの火の館」では、見舞金を送ろうと募金をしています。皆様のご協力をお願いいたします。

第5回稲むらの火講座(予告)

第5回稲むらの火講座を下記のとおり開催することになりました。参加申し込みの受付は2月からの予定ですが、お知らせしておきます。

日時 平成29年3月4日午後1時

場所 稲むらの火の館3階

講師 中筋 章夫先生

和歌山大学災害科学教育研究

センターコーディネーター

西山東地区防災会アドバイザー

演題 「災害に強い地域づくり」

以上の予定です。多数の参加お待ちしております。

昭和南海地震・津波から70年

昭和21年12月21日の南海地震・津波から70年という節目の年ということで、この津波の取材などに来られるマスコミの方が目立ちました。和歌山県にとっては、一番近い津波がこの昭和南海地震ということで、問合せもありました。電話だけでなく、神奈川新聞、公明新聞の防災担当記者さんが来られました。昭和だけではなく、もちろん安政津波、濱口梧陵さんの行動ということも詳しく取材されました。

いつの時代でも、災害の記憶を風化させないためには、過去の災害を伝承し、次へ向けての教訓とするために必要なことでしょう。

<稲むらの火の館の紹介>

濱口梧陵記念館／津波防災教育センター

〒643-0071 住所 広川町広671

TEL: 0737-64-1760/FAX: 0737-64-1761

<http://www.town.hirogawa.wakayama.jp/inamurano-hi/>

*開館時間: 午前10時～午後5時(受付終了4時)

*休館日: 月曜日・火曜日(祝日開館)

年末年始(12/29~1/4)

*記念館だけの入場は無料です。